

移住に関わる人口移動とアンケートの報告

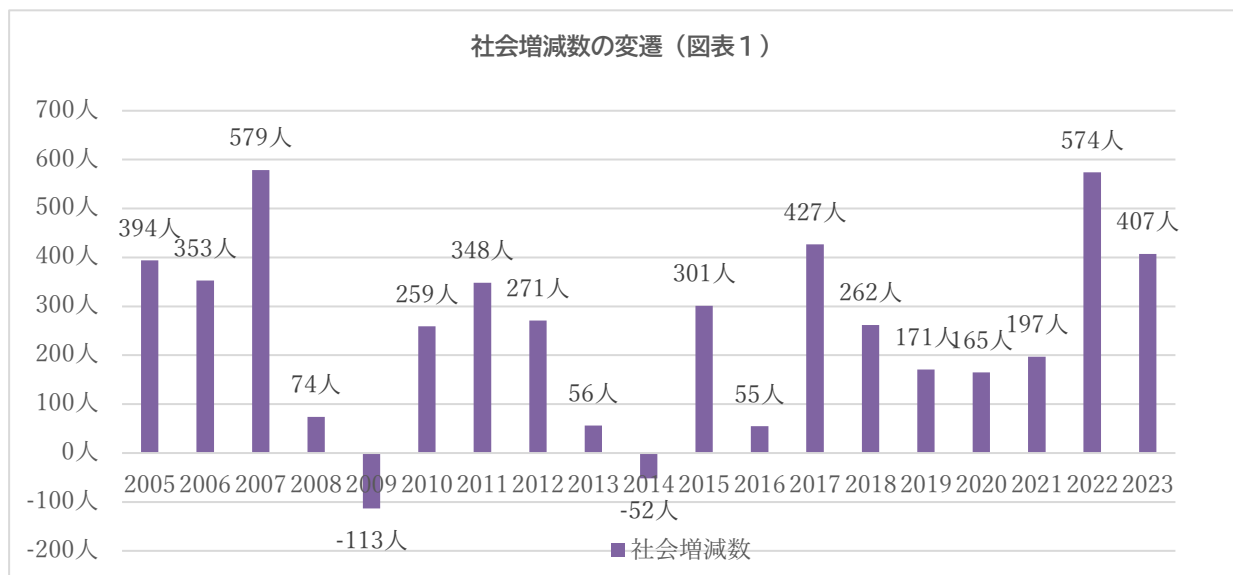
1 人口移動の状況

(1) 9年連続の転入超過

長野県「毎月人口異動調査(2023年)年間人口増減」の基づく、令和5年(2023年)の安曇野市の人口は9万3,179人となり、前年に比べ355人減少しました。

自然増減数は、762人の減少でしたが、社会増減数は407人となり、平成27年(2015年)以来、9年連続で転入超過となっています。この社会増減数は県内4位でした。

なお、総務省「住民基本台帳人口移動報告」に基づく、国外転出入等を除く社会増加数は350人で、県内3位となっています。



社会増加数上位(図表2)

1位		2位		3位		4位	
松本市	501人	御代田町	445人	白馬村	430人	安曇野市	407人

(2) 年少人口の社会増加数が県内1位

総務省「住民基本台帳人口移動報告」に基づく、令和5年(2023年)の0歳~14歳の社会増加数は720人で、県内市町村で1位であり、2位以下を大きく上回っています。ファミリー層の転入が多いことが推測されます。

年少人口の社会増加数上位(図表3)

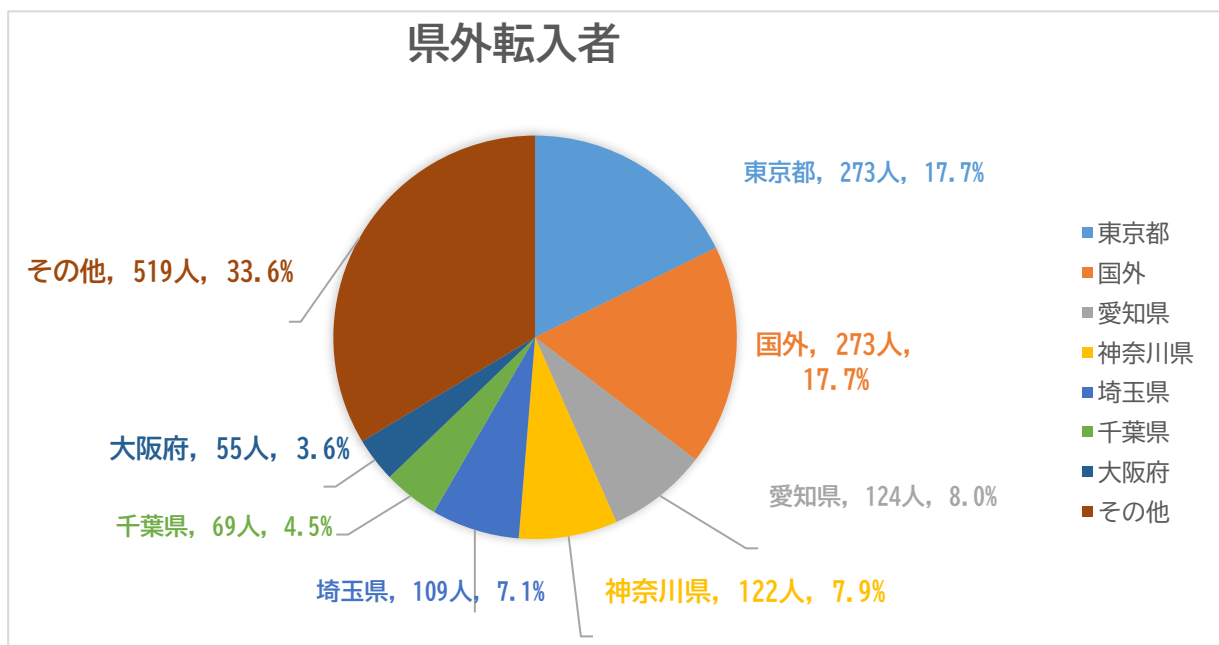
1位		2位		3位		4位	
安曇野市	200人	須坂市	111人	佐久市	100人	千曲市	92人

(3) 転入者の県外上位は、東京都ほか首都圏

長野県「毎月人口異動調査（2023年）年間人口増減」の基づく、県内・県外の転出の別は、県内がやや上回っている状況です。都道府県別では、東京都ほか首都圏から転入が特に多い状況です。

- ・ 令和5年の転入者は、3,296人で 県外転入 46.8% (1,544人)
県内転入 53.1% (1,752人)
- ・ 県外転入者の上位は、
東京都 17.7% (273人)、国外が同率の 17.7% (273人)、愛知県 8% (124人)

(図表4)



※小数点二位以下は四捨五入

2 安曇野市移住希望者アンケート（抜粋）

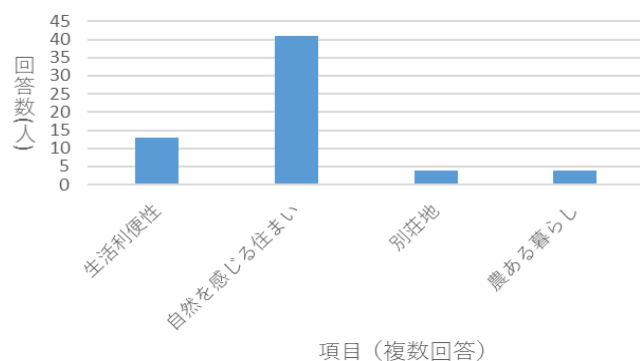
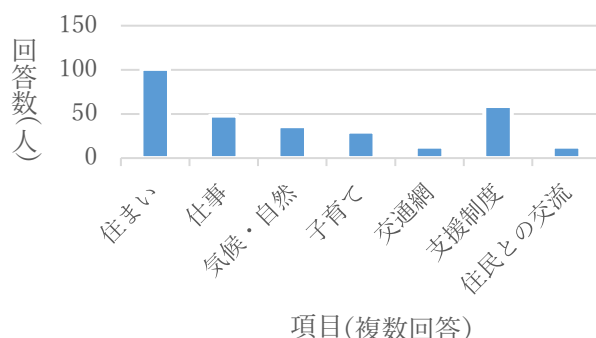
（1）知りたい情報

- ・当市の移住検討者が知りたい情報は、「住まい」が最多となり次いで「支援制度」と続いています。
- ・実際に窓口で受ける相談では、漠然と移住を検討している相談者、具体的に物件を探している相談者と幅広い状況のため、行政だけでなく移住希望者のニーズに応えるためにも安曇野暮らし支援協議会の皆さまとの連携が重要となります。

（2）住みたい環境

- ・住みたい環境としては、「自然を感じる住まい」が圧倒的に多い状況です。相談窓口でも北アルプスが展望できる場所を聞かれることが多く、移住促進する上でも欠かせないPRポイントとなります。

安曇野市移住希望者アンケート R5.4～R6.2（図表5）



※「安曇野市移住希望者アンケート」229名の回答
イベント参加者や移住相談者に対し、移住に係る傾向の把握や分析等を行うためお願いしているアンケート。本結果は、通常の相談業務（窓口・電話・メール・オンライン相談）において行ったアンケートの結果を集計したもの。（令和5年4月～令和6年2月。対象数229件）

まとめ

安曇野市は現在、継続的に社会増加が続いており、住居地として多くの方に安曇野市を選んでいただいております。中でも、子育て世帯の社会増加数が比較的多く、ファミリー層から移住地として選ばれていることがうかがえます。

また、移住希望者が住みたい環境として挙げているのは、「自然を感じる住まい」であり、恵まれた自然環境や子育て環境を強みとしてプロモーションすることが有効と考えられます。

令和5年度 事業実施状況

(移住定住推進係)

(1) オンラインセミナー（当日参加&後日見逃し配信）

開催日	内容等	組数	参加者数
4月25日(火)	【テーマ】安曇野おすすめスポット紹介 【ゲスト】観光協会・移住者（職員）	41	54
5月30日(火)	【テーマ】安曇野市の防災体制と自治組織 【ゲスト】危機管理課・地域づくり課・移住者（職員）	25	33
6月14日(水)※	【テーマ】地域おこし協力隊募集説明会 【ゲスト】政策経営課・空家活用係・地域おこし協力隊	19	25
7月4日(火)	【テーマ】安曇野市で週末登山始めよう 【ゲスト】観光課・観光協会（移住者）	21	28
8月10日(木)	【テーマ】つながる安曇野（公共交通・市民活動・サークル） 【ゲスト】政策経営課・生涯学習課・市民活動団体（移住者）	20	26
10月5日(木)	【テーマ】地域を変える空き家活用 【ゲスト】合同会社うずまき・龍門測てらす シェアスペース利用者（県内移住者）	22	26
11月30日(木)	【テーマ】求人情勢と創業支援 【ゲスト】公共職業安定所・商工会	21	28
12月9日(土)※	【テーマ】住まいのセミナー 【ゲスト】空家活用係・建築士会	14	18
2月20日(火)	【テーマ】山麓エリアってどんなところ？ 【ゲスト】安曇野・穂高リゾートワーケーション研究会	25	31
3月22日(金)	【テーマ】あづみの自然保育まるわかりセミナー 【ゲスト】こども家庭支援課（協力隊）		
		計	208
			269

※ 現地併用 参加者はオンライン参加のみ計上

まとめ

- 昨年度から実施回数を2回増やし、10回行いました。テーマを明確にすることで mismatch を防ぎ、聞きたい内容を選んで視聴できるよう工夫しました。
- 一方で、「住まい・求人・子育て」など、人気テーマが重複しつつあることから、令和6年度は、これまで収録したコンテンツをアーカイブ配信します。これにより、過去の動画を視聴できなかった層の獲得を目指します。

(2) 現地セミナー（市主催）

開催日	内容等	場所	組数	参加者数
6月14日（水） （※1・※2）	地域おこし協力隊募集説明会	東京	4	4
12月9日（土） （※1・※2）	住宅のプロが教える住まい探しのポイント	大阪	8	12
2月4日（日） （※2）	（主催：子ども家庭支援課） あづみの自然保育まるわかりセミナー	東京	2	3
3月9日（土） （※2）	（主催：子ども家庭支援課） あづみの自然保育まるわかりセミナー	愛知	1	2
	計		15	21

（※1）オンライン併用 参加者は現地参加者のみ計上

（※2）個別相談会併用 セミナー参加者のみ計上

まとめ

- 現在の部署が発足してから、愛知・大阪での現地セミナーを初めて行いました。東京圏以外にも中京圏・関西圏からも一定の移住希望者がいることから、令和6年度も中京圏・関西圏でのイベントやセミナーを計画しています。
- 自然保育のセミナーは集客に苦戦しました。開催時期の問題、幼児がいると参加しにくいのではないかといった要因が考えられますが、子育て世帯を対象とした企画内容を再検証します。

(3) 県外でのフェア・個別相談会

開催日	内容等	主催	組数	参加者数
5月13日(土)	長野県とつながる大相談会	県	12	17
6月14日(水)※	出張相談デスク(銀座 NAGANO)	市	3	4
7月21日(金)	出張移住相談デスク(県名古屋事務所)	市	4	6
7月22日(土)	おいでや!いなか暮らしフェア	ふ	16	24
7月22日(土)	信州で暮らす働くフェア	県	31	52
8月6日(日)	テーマから探す!移住フェア	県	30	30
9月16日(土)	出張移住相談会(銀座 NAGANO)	市	15	25
9月17日(日)	ふるさと回帰フェア	ふ	42	76
10月7日(土)	暮らす・働く信州まつもと広域圏まるごと移住相談会	県	8	13
10月21日(土)	安曇野暮らし PR 展	市	18	33
11月12日(土)	ハイブリッド個別相談会	県	4	8
12月9日(土)※	移住相談デスク(大阪ふるさと暮らし情報センター)	市	8	12
12月10日(日)	出張移住相談会(ウインクあいち)	市	8	15
2月4日(日)※	移住個別相談会(銀座 NAGANO)	市	5	8
2月11日(土)	農ある暮らしセミナー&個別相談会	県	5	5
3月9日(土)※	移住個別相談会(ウインクあいち)	市	1	2
	計		210	330

凡例：県（長野県主催）、市（安曇野市主催）、ふ（NPO 法人 ふるさと回帰支援センター）

※ セミナー併用 個別相談参加者のみ計上

まとめ

- 本年度は、フェアや相談会により PR する機会を増やしました。大規模なフェアでは絶え間なくブースに多くの方が訪れ、相談会では定員に達することが多かったことから、移住先として安曇野市の人気うかがえました。
- 安曇野暮らし PR 展については、安曇野市と日本郵政（株）が包括連携協定を結んでおり、記念切手の販売など郵便局協力のもと実施し、観光課・農政課等とも連携し物産販売を行うなど、安曇野の暮らしの魅力を幅広くプロモーションしました。来場者も比較的多く、宣伝効果が望めることから、来年度は2日間開催に拡大する予定です。

(4) 移住交流ツアー

	開催日	内容等	組数	参加者数
①	5月20日(土)～5月21日(日)	空き家見学&移住交流ツアー	7	12
②	11月12日(日)～11月13日(月)	安曇野で子育て体感! 移住交流ツアー	5	16
		計	12	28

まとめ

- 第1回は、空き家に興味があり、移住を検討している人をターゲットとして、「明科駅周辺まちあるき空き家空き店舗見学会」と併せて実施しました。交流会では、明科駅周辺まちづくり委員会に参加いただき、空き家活用にかかわる相談にも応じました。アンケートでは、空き家の実情が聞けて良かったという意見がある一方で、居住可能な状態の空き家見学を望む声もあったため、参加者の要望に相違がありました。今後は開催の目的を明確にすることで、満足度の高い企画を計画します。
- 第2回は、子育て世帯を対象とし、子育てに特化した内容のセミナーと明科北認定こども園での体験入園等を盛り込みました。聴講をメインとしたセミナーと比べ、実際に交流することで安曇野市での子育て生活のイメージを掴んでいただき、アンケートでも多くの満足度を得ることができました。一方で、子どもの体調不良や家族単位で動きたい状況も見られ、長時間での行動や、団体での対応が難しかったことから、来年度は日帰りのツアーとする予定です。

(5) おためし住宅

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
南棟	2	4	2	6	5	5	6	4	3	3	8	4	52世帯
北棟	4	3	3	6	5	5	4	4	4	-	-	4	42世帯
世帯	6	7	5	12	10	10	10	8	7	3	8	8	94世帯
人数	16	15	10	27	36	18	23	17	19	5	18	19	223人

まとめ

- 令和5年7月1日以降の申請から、委託事業者または市役所の移住相談を必須としました。2月末現在で、市の相談窓口では14件、委託業者では71件の相談に応じました(重複あり)。移住希望者と直接対話のできる貴重な機会となるため、今後も継続して実施します。

(6) 通常の相談業務

期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年2月29日
対応状況	相談件数：229件（前年比+69件） 【内訳】電話：57件（+16件）、メール13件（+5件）、 来庁139件（+42件）、オンライン20件（+6件）

(7) 移住者に対する補助金交付実績（前年度に移住した場合も含む）

（空家活用係、商工労政課商工労政係）

補助金名称	区分	R5 交付件数	前年比
①移住等空家改修利活用促進事業補助金	ようこそ。安曇野へ	7件	+4件
	おかえり。安曇野へ	5件	
②空き家バンク活用促進支援事業補助金	移住者支援補助	7件	+5件
③UIJ ターン就業・創業移住支援事業補助金	マッチングサイト	2件	0件
	専門人材	1件	-1件
	テレワーク	15件	+12件

※①と②は併用可。

※①と②は市外からの転入者が対象。③は県外からの転入者が対象。

①

R5.4/1更新

空家利活用制度のご案内

安曇野市では、空家の流通や利活用を促進するとともに、空家への居住者の増加を図り、市の人口増加や地域活性化につなげるため、空家の各種利活用制度をご用意しています。

市では、安曇野市移住等空家改修利活用促進事業補助金として、4つのメニューを設けました。

<p>①「ようこそ。安曇野へ」補助</p> <p>移住者が、安曇野市空き家バンクから購入済みの物件をこれから改修し、改修後そこに10年以上居住する場合に、物件の改修工事費用を補助します。</p>	<p>対象経費の2/3 上限80万円</p>
<p>②「活かそう。地域資源」補助</p> <p>持ち家のない市内在住者が、安曇野市空き家バンクから購入済みの物件をこれから改修し、改修後そこに3年以上居住する場合に、物件の改修工事費用を補助します。</p>	<p>対象経費の1/3 上限30万円</p>
<p>③「おかえり。安曇野へ」補助</p> <p>移住者が、3親等以内の親族から購入・受贈・賃貸・使用貸借した/している空家をこれから改修し、改修後そこに3年以上居住する場合に、物件の改修工事費用を補助します。</p>	<p>対象経費の1/3 上限50万円</p>
<p>④「長期体験。安曇野暮らし」補助</p> <p>移住者が、安曇野市空き家バンクから定期賃貸借をした物件をこれから改修し、改修後そこに1年または定期賃貸借契約満了まで居住する場合に、物件の改修工事費用を補助します。</p>	<p>対象経費の1/3 上限40万円</p>

②

○補助の対象となる経費

- ・空家バンク仲介業者に支払う仲介手数料
- ・引越し業者、運送業者へ支払う引越し費用
- ※支払い済みのものは対象経費とはなりません



対象経費の1/3

上限**10万円**を補助

③

安曇野市UIターン 就業・創業移住支援事業補助金

予算の状況等によっては要件を満たしていても申請を受け付けられない場合があります。

安曇野市では担い手不足の解消などのため、東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、愛知県、大阪府から安曇野市へ移住し、就業又は創業した方に、移住支援事業補助金を交付します。

移住支援金

単身:60万円
 2人以上の世帯:100万円
 子育て応援!
 18歳未満の世帯員1人につき
 100万円

申請受付期間が変更されました!

旧:移住後3ヵ月以上1年以内
 新:移住後1年以内

創業支援金

県が実施する創業支援金
 最大200万円

長野県への申請が必要

移住支援金のご相談、申請はお早目に

移住支援金の申請は、「移住して1年以内」かつ「移住後就業している or 創業支援金の交付決定から1年以内」に行います。

ただし、上記の期間内でも、予算の上限額に達した場合や事務処理の状況等により、申請を受け付けられない場合・受付を中止する場合があります。特に、1月後半～3月には受付を締め切っている場合がありますので、ご注意ください。

申請の区分

区分により、交付の要件や準備が必要な書類も異なりますので、事前にご確認をお願いします。

ア マッチングサイト経由 長野県が運営するマッチングサイトを利用	イ 「専門人材」 「プロフェッショナル人材事業」「先導的人材マッチング事業」を利用	ウ 「テレワーカー」 移住元での仕事を継続 「転職なき移住」	エ 「関係人口」 関係人口であれば「ア」「イ」に該当しなくてもOK	オ 創業支援金の交付決定 「創業支援金」交付決定⇒「移住支援金」申請可
--	---	---	---	---

(8) 結婚新生活支援事業

新規事業として、婚姻に伴い新たな生活を始める世帯の経済的不安の軽減を図るため、一定の要件を満たす39歳以下の新婚世帯に対し、補助金を交付しました。

R6.3.19現在で、27件の申請があり、この内、29歳以下の申請は13件、39歳以下の申請は14件となっています。

27件54人のうち、21件33人が市外からの転入となり、結婚を機に安曇野市に転入される方もいることから、さらに多くの方に周知いたします。

要件等の詳細は、次項をご覧ください。

R5

「ふたりの」
新婚生活
応援します

安曇野市

対象世帯に
家賃などを
補助！



安曇野市では新婚生活のスタートを支援するため、結婚新生活支援事業による補助を行っています。

対象世帯

令和5年
3月1日以降
婚姻した

婚姻日の
年齢が
夫婦共に
39歳以下

夫婦の
合計所得が
500万円以下

該当者は
裏面を
チェック！

補助額

最大
30万円

または

最大
60万円

夫婦共に29歳以下なら

対象経費

※令和5年4月1日～令和6年3月31日までに支払った費用が対象となります。

1 住宅取得費用

建物の購入費
(土地代、住宅ローン手数料などは対象外)

3 住宅リフォーム費用

修繕、増築、改築などの工事費用
(外構工事、家電購入費用などは対象外)

2 住宅賃借費用

賃料、敷金、礼金、共益費、仲介手数料
(駐車場代、光熱水費、火災保険料などは対象外)

4 引っ越し費用

住居の移転に伴う荷物の移動、運送費用
(不用品の処分費用などは対象外)

令和6年度 事業予定

(移住定住推進係)

1 首都圏等での移住セミナー等

(1) 安曇野暮らしセミナー・相談会

- ・東京会場（銀座 NAGANO）・・・年2回（実施日未定）
- ・名古屋会場（県事務所）・・・7月19日（金）（実施日未確定）

(2) 安曇野暮らし PR 展

- ・KITTE 東京シティアイ・・・10月19日（金）～20日（土）

(3) 県主催セミナー

- ・大相談会（東京交通会館）・・・5月11日（土）
- ・信州で暮らす働くフェア（東京交通会館）・・・7月13日（土）
- ・松本地域振興局主催セミナー（東京交通会館）・・・10月26日（土）
- ・松本地域振興局主催オンラインセミナー（銀座 NAGANO）・・・11月予定

(4) その他合同セミナー

- ・おいでやいなか暮らしフェア（大阪 OMMビル）・・・7月20日（土）
- ・ふるさと回帰フェア（東京国際フォーラム）・・・9月21日（土）・22日（日）
- ・JOIN 移住交流&地域おこしフェア・・・1月中下旬

2 オンライン移住セミナー等

(1) オンライン移住セミナー

2カ月に一度、計6回開催予定

仕事、不動産、子育てなど個別テーマを決めて開催します。これまでの放送分も活用し、YouTube アーカイブ配信を行い、視聴回数増を図ります。

(2) オンライン個別移住相談

対応可能時間：平日10時から16時の間で1日4組まで対応

3 現地ツアー・相談会

(1) 子育て世代を対象にした日帰りツアー他・・・年2～3回実施を予定

こども園、小学校、生活環境を見学

(2) 現地相談会・・・(株)モンベルとの連携により、8月に安曇野店内で実施予定 観光課・モンベルの講師による東山トレッキングなどの魅力紹介セミナーと 同時に、移住相談会を実施（事前予約制）

- セミナー・相談会・ツアーのいずれも、生活環境、住宅、仕事など、内容によって、委員の皆さまに相談員や講師をお願いする場合があります。ご協力をお願いします。

4 おためし住宅

通年受入可能（受入不可：12月28日～翌年1月4日）

安曇野市三郷小倉地籍において2棟を貸出し

利用料：無料

利用可能日数：7日間

利用条件：県外に住所を有して安曇野市に移住を希望していること。
安曇野へ移住！HPから「移住希望者登録フォーム」に登録があること。期間中に移住相談を受けられること。

5 「移住相談ができるお泊り施設」の紹介

安曇野市への移住相談は、市の移住定住推進課窓口のほか、市内のゲストハウス、シェアハウス、ペンションなどの宿泊滞在施設において、住まいや就業、暮らしぶりなどの相談に応じている実態があります。これらの宿泊施設と連携を図り、相談対応や滞在拠点案内の充実化を図ります。この募集要件は、（市内の宿泊滞在施設・30分程度の移住相談対応・移住に関わる資料の配布・5月上旬の情報交換会〈方向性のすり合わせ〉の参加）としています。現在、6施設の申請がありますが、4月中旬には締め切り、一覧を作成する予定です。作成後は、安曇野市移住HPの掲載、チラシを作成し、セミナーや窓口相談などに活用します。

6 UIJ ターン就業・創業移住支援事業補助金

東京圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）、愛知県、大阪府から安曇野市へ移住し、就業又は創業した方等への補助金交付事務は、これまで商工労政課が担当していましたが、移住希望者からの相談が多いことから、相談者の利便性を図るため、令和6年度からは移住定住推進課に所管替えとなります。

7 結婚新生活支援事業

婚姻に伴い新たな生活を始める世帯の経済的不安の軽減を図るため、一定の要件を満たす新婚世帯に対し、補助金を交付します。

8 プロモーション事業

（1）あづみの移住大使

篠原信一さんに「安曇野ぐらし PR 展」などで、移住体験談などを講演いただく予定です。

（2）子育て・若者をターゲットとした広告掲出

動画やWebによる広告掲出により、子育て世代や若者をターゲットにしたプロモーションを行います。

9 その他

移住者交流会の実施

各委員からの情報提供

1 安曇野市商工会

(1) 移住推進に関わる声

- 移住推進を目的とした独自の取り組みが無いいため報告事項はないが、様々な業種の方とお話しをしていると、人口増に最も寄与する業種である製造業の積極的な誘致を行ってほしいとの声が聞かれる。大手製造業を1社でも市内に誘致することができれば県外拠点からの移住や昼間人口の増加が見込まれる。

(2) 移住・創業相談の状況

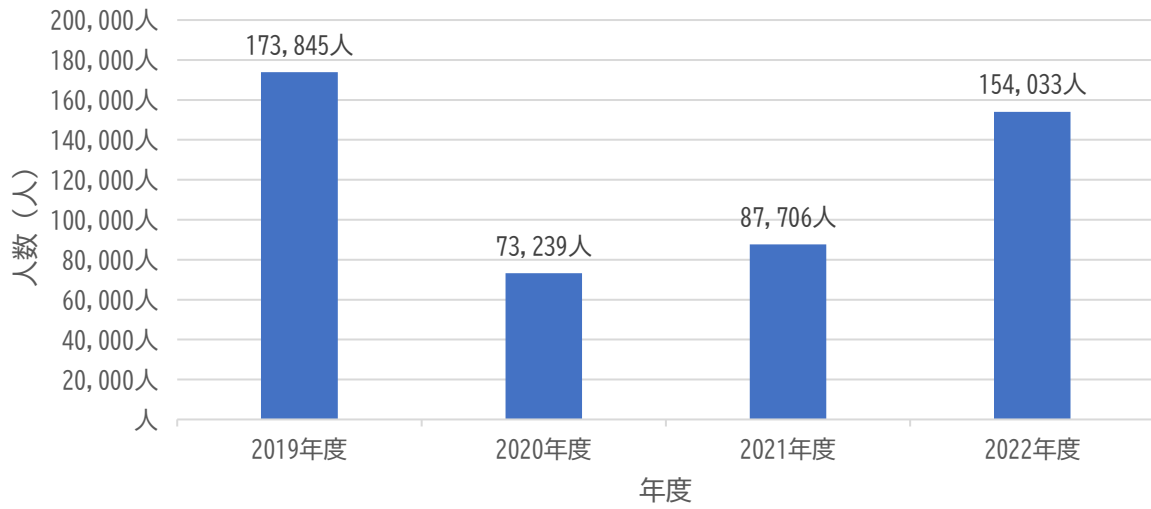
- 移住希望者の創業を含めた相談は2月に1件。
住居と同時に空き店舗などの物件を選定する必要があるが、空き店舗はタイミングもありすぐに見つかるケースは稀。店舗物件は実際に自分の目で市内を見て回らないと決められないため、移住してから店舗物件を探そうとする方が多い。物件確定後も金融機関との調整も長引く傾向にあるため、その間の生活資金をどの程度準備できるかが重要。

2 (一社) 安曇野市観光協会

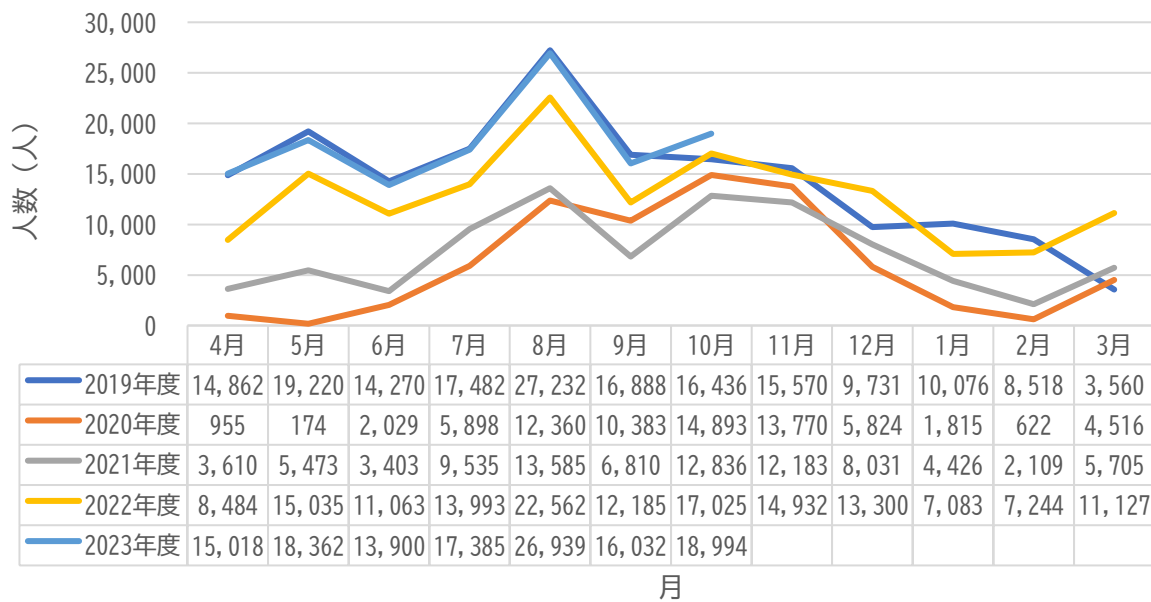
(1) 観光人口(宿泊者数)の状況

- 2019年度との比較において全体として微増傾向。
- 詳細は次頁のとおり。

宿泊者数推移



2019～2023年度 月別宿泊者数 集計表 (19施設)



3 (公社) 長野県宅地建物取引業協会中信支部 (公社) 全日本不動産協会長野県本部

(1) エリアごとの土地価格、新築費用の目安

➤ 【土地価格】

「ココスマ! 安曇野」令和6年3月掲載分

- ・豊科地区 7.5万(光) ~17.5万(南穂高) 田沢は2万円弱から
- ・穂高地区 3.4万(山麓線沿い) ~13.5万(穂高) 山林原野は0.5万円も
- ・堀金地区 7.3万(三田) ~10.5万(烏川)
- ・三郷地区 2.1万(小倉) ~18万(明盛)
- ・明科地区 2.3万(七貴) ~13.12万(中川手)

➤ 【新築費用目安】

- ・木造2階建30坪・省エネ法対応新築 諸経費込み 1,500万円~

(2) 中古物件の活用状況

- (宅建協会) 詳しいデータは無い。買取り再販業者からの仕入れを求める声は以前より増している印象が有る。
- (全日本不動産) 地元の方の需要があり、いい物件でお値打ちなものはすぐに売れてしまう。

(3) 移住希望者向け「不動産事業者一覧」作成の実現性

- (宅建協会) 積極的に携わりたい業者を中信支部で募って一覧の作成は可能。空き家バンクへの登録事業者が中心になると思われる。
- (全日本不動産) 作成可能。当会員に安曇野市における相談対応希望者をアンケートで募集する予定。

4 (公社) 長野県建築士会安曇野支部

(1) 移住相談の状況

- 2023年秋に当会で作成したパンフレットやそれを設置・配布した所からの反響があり、それに会として対応しました。
- 移住者限定ではないが、上の項目で報告したパンフレットの効果か、作成前が相談件数1件だったのに対し、秋以降に相談件数が9件と大幅に増えました。
- 内容は、新築の相談や断熱改修について、補助金の事、それ以外にも建築基準法に合致していない土地についての相談など、多岐に渡りました。

5 長野県松本地域振興局

(1) 令和5年度の松本広域圏(3市5村)協働の活動経過

- R5. 6. 23 第1回松本広域圏移住促進対策検討会議
(以下 検討会議)開催
8. 17 第2回検討会議開催
10. 15 暮らす・働く 信州まつもと広域圏まるごと移住相談会(東京有楽町)の開催(26組42名来場 相談件数70件)
11. 23 銀座NAGANOハイブリッド移住セミナー・個別相談会の開催
(14組21名来場 相談件数21件)
12. 26 第3回検討会議、視察(松本市33GAKU)開催
- R6. 2. 29 第4回検討会議、視察(塩尻市core塩尻)、研修会開催

6 松本公共職業安定所

(1) 移住希望者への職業相談・紹介体制

- 厚生労働省では地方就職に向けた職業相談・職業紹介を行っており、その拠点として、地方就職支援コーナーを東京・大阪に設置しています。地方就職支援コーナーでは、専門の相談員が、就職を希望する地域等の生活関連情報(住宅、教育、医療等)を用いた、きめ細かな職業相談、紹介を行っています。

(2) 相談者の傾向

- なお、最近の移住希望者の相談を受けている当所の担当によると、年齢層は50代以上の高齢層が多く、下記にも記載のとおり、今までの経験を活かした職種を希望、パートタイムでも良いと考えている方が多く、若年者は民間のエージェントを活用される傾向が見られるとのこと。長野県を移住先に選んだ理由としては「山が好き」「以前訪れた際に、好印象で移住先として考えた」などの声が聞かれる。

(3) 移住希望者をターゲットに求人している事業者はあるか。

- HWにはUIJターン歓迎求人があります。幅広い地域からの応募を想定しており、3/6現在、全求人4,547件中1,446件あり求人全体の1/3程が該当します。転居費用等を助成している事業所もあります。

(4) 移住希望の相談者の傾向(職種・重要視するもの・条件等)

- 職種の傾向は、①地元らしい仕事をしたい(新しいことに挑戦したい) ②経験を活かしたい と概ね2方向に分かれます。
比較的若年層に該当する方は①の新たなチャレンジにより地元らしい仕事(具

体的には観光・農業・工芸など指す)を希望される傾向があります。定年退職後のセカンドライフで移住を希望される方は②の傾向があり「経験を活かせるのが理想だが、働けるのなら何でも良い」という声を聞きます。いずれもワークライフバランスを重要視しており、休日が一定数あることや、残業時間が少ないなどの条件を優先している印象です。

7 NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団

(1) 移住定住の取り組み

- 「ふるさと探求安曇野」失われつつある安曇野の歴史文化景観遺産の存在や成り立ち等を子どもたちに伝えていく仕組みづくりを行っています。

8 合同会社 ベースキャンプ安曇野

(1) 移住相談の件数（おためし住宅）

- 利用者は市・弊社での移住相談が必須となったため、移住に対して本気の方が多く、殆どが移住相談にかかる予定時間（1時間）を優に超える。
- 利用者全てが安曇野に移住を検討しているわけではなく、一部は他県、近隣市町村も検討している。
- 相談件数（おためし住宅） 2022年度：45件、2023年度：71件

年	月	利用組数	移住相談回数	
2022	6	1	1	
	7	11	8	
	8	8	10	
	9	9	8	
	10	4	5	
	11	4	6	
	12	1	1	
	2023	1	1	0
		2	2	1
		3	6	5
	計		47	45

年	月	利用組数	移住相談回数	
2023	4	6	2	
	5	6	6	
	6	5	7	
	7	12	9	
	8	11	7	
	9	12	8	
	10	10	9	
	11	8	5	
	12	7	7	
	2024	1	3	3
		2	8	8
	計		88	71

(2) 相談内容

- 暮らし
 - ・医療施設・買い物・交通など利便性について
 - ・区、自治会、近所付き合いについて
 - ・冬季の環境→数値・統計ではなく実体験を聞きたい
 - ・暖房費について など

- 就業
 - ・現職・職種に拘らず求職したいがどんな仕事があるか
 - ・退職者・早期退職者の就業先はあるか
 - ・農業に携わりたい（新規就農・シーズンワーク）がどうすれば良いか など
- 教育
 - ・自然豊かな環境で子育てがしたい
 - ・少人数の学級編成を希望
 - ・信州やまほいく・野外保育・インターナショナルスクールに興味あり
- 住まい
 - ・住むならどのエリアが良いか
 - ・中古住宅の購入
 - ・賃貸集合住宅への入居
 - ・おすすめの不動産屋を紹介してほしい（注：弊社は個別に紹介はしていない） など

（3）移住を検討する理由はどんな声が聞かれるか

- ・自然豊かな環境での子育てがしたい。
- ・都会の喧騒から離れたい。
- ・リモートワークが可能であるため暮らしの拠点を変えたい。
- ・退職し（予定含め）現住所地で暮らす必要がなくなった。
- ・憧れの安曇野にいつかは移住したいと思っていた。
- ・趣味のアウトドアアクティビティを身近に楽しめる。
- ・移住を機に起業を検討。
- ・地方は物価が安いと思った。など

（4）移住者向けイベント企画の実績

- ベースキャンプ安曇野として移住者向けイベント企画等は開催していないが、代表山下が個人的に移住者交流会を開催した。
 - ・開催日 令和5年12月16日
 - ・開催場所 安曇野の里 元あづみのコミュニケーションチャロル
 - ・参加者数 大人29名 子ども6名
 - ・参加者の居住地：安曇野市・上田市・池田町・大町市・松本市・県外（移住希望者）
 - ・参加理由 繋がりを作りたい・広げたい。移住者同士で話がしたい。誰かと話がしたい。移住計画中の情報入手（繋がり作り） など

9 合同会社 うずまき

(1) 移住定住相談の件数

- 龍門漕てらす相談（令和2～5年）：23件

(2) 相談内容

- ・空き家の賃貸、購入
- ・ゲストハウス、シェアハウスを運営したい。
- ・アウトドア拠点としたい。
- ・相談者の現住所は、市内9件、松本市5件、県外6件、生坂村1件、その他2件

(3) 移住者向けイベント企画の予定

① 明科駅周辺まちあるき空き家店舗見学会（明科駅周辺まちづくり委員会主催）

- ・5月18日（土） 午後1時～
- ・8月24日（土） 午前9時～
- ・11月9日（土） 午後1時～
- ・令和7年2月15日（土） 午後1時～

② トークイベント（うずまき主催）

- ・空家を貸す・売る・手放す（6月・龍門漕てらす）
 - ・空家を利活用する（9月・龍門漕てらす）
 - ・空家をリノベーションして事業化する（12月・交流学習施設ひまわり）
- （その他、空き家利活用セミナーを毎月1回開催を計画）

③ 地域おこし協力隊 コラボレート

- ・明科駅周辺まちあるき空き家店舗見学会の運営、物件掘り起こし、まちあるき企画、広報、第2の拠点の立ち上げ協力

(4) その他

- 空き家はあるが、持ち主からの利活用許可を得るのに苦労している。
- 空き家物件の買い取り、リノベーション投資のためのファンドがあると動きやすい。